

平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

コース名	③女性対象コース		
事業名	専修学校を活用した就業能力向上支援事業		
法人名	学校法人古河コア学園		
学校名	古河テクノビジネス専門学校		
代表者	理事長 渡辺 幸久	担当者 連絡先	原田 圭二 TEL 0280-22-2411
1. 事業の目的			
<p>出産・子育て等により一旦就業を中断した女性にとって、子育て等が一段落した後に再就職することは容易なことではない。そこでこの事業では、再就職を希望する女性を対象にして、「古河市男女共同参画推進条例」を施行している古河市の協力を得た上で、地域の女性関連施設等（男女共同参画課、古河市ファミリーサポートセンター等）および人材育成機関（商工会議所・就職支援センター・ジョブカフェ・勤労青少年ホーム等）と連携して、ジョブカードを活用した就業支援講座を実施するものである。</p> <p>講座において育成する人材像は、企業に必要なIT活用能力（オフィスソフト、データ管理、情報セキュリティ管理、コンプライアンス等）および、入社後の職場のコミュニケーション対応能力（ビジネスマナー・コミュニケーション能力等）を備えた人材像とする。</p> <p>地元のIT企業・一般企業・社会保険労務士・キャリアコンサルタント等を講師に招く事により、地域の就職事情・求人情報等を受講者に提供し、適宜職業紹介を行い、本事業を介して求人企業とのパイプ役となる等、再就職等に必要な能力について総合的に育成を図るものとする。</p> <p>本事業の目的は汎用的なものを目指し、研究開発の成果は、年度末に他の専修学校・関連企業・行政関係者等を対象とした成果報告会を開催するとともに報告書を作成し、広く普及を図る。</p> <p>講座開設に当たり、受講者満足度60%、受講者の就職率50%を設定した。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）			
<p>企業に必要なIT活用能力（オフィスソフト、データ管理、情報セキュリティ管理、コンプライアンス等）および、入社後の職場のコミュニケーション対応能力（ビジネスマナー・コミュニケーション能力等）を備えた人材を育成するIT活用能力向上カリキュラムを開発した。</p> <p>また、ジョブカードを活用したキャリアコンサルティングにより、再就職を支援する就業支援カリキュラムを開発した。</p> <p>●開設講座数 : 1講座 ●総授業時間数 : 252時間</p>			

●開設期間 : 平成 21 年 12 月 14 日から平成 22 年 3 月 3 日まで

●授業時間数および講座内容

(内訳)

<IT 活用能力向上カリキュラム> (152 時間)

- ・ オフィスソフト活用 (64 時間) Word、Excel、PP の活用
- ・ MCAS 試験対策 (32 時間) MCAS Word・MCAS Excel 試験対策
- ・ データ管理 (32 時間) Access を使ったデータベース管理
- ・ 情報セキュリティ管理 (12 時間) 情報セキュリティ・情報資産管理
- ・ コンプライアンス (12 時間) 個人情報保護・著作権

<就業支援カリキュラム> (100 時間)

- ・ ジョブカード作成 (40 時間) ジョブカードの作成・評価
- ・ 就職支援 (20 時間)
ビジネスマナー・求職スキル・茨城県西地域の雇用情勢・プレゼンテーション
- ・ ビジネス能力 (20 時間) ビジネスマナー・コミュニケーション
- ・ キャリアコンサルティング (20 時間)
キャリアコンサルタントによるキャリアコンサルティング

●応募者数 : 18 名

●受講者数 : 16 名

●修了者数 : 9 名

●受講者満足度 : 満足 (5 段階評価で良い方から 2 番目)

●受講生就職状況

- ・ 就職希望者数 : 12 名
- ・ 就職者数 : 7 名 (内訳 : 正規雇用 4 名、非正規雇用等 3 名)
- ・ 非就職者数 : 4 名

②受講者の募集方法 (手法・期間・効果)

受講者募集に当たっては、主に下記の方法を用いて行った。

1. 古河市広報に掲載 (11 月 15 日号)
2. チラシを作成し公共機関 (古河市役所) 等に設置 (11 月 4 日~12 月 2 日)
3. 新聞折り込みチラシへの掲載 (11 月 7 日)
4. ジョブカフェけんせい・就職支援センター・ハローワーク等での告知
(11 月 4 日~12 月 2 日)

ほとんどの方が、古河市広報を見て応募してきた。少数ではあるが、チラシを見て県外から応募してきた方もいた。

定員 20 名のところ、18 名の応募があった。適性試験及び面接試験を行い、特に講座を受講する必要性の高い 16 名を受講対象者とした。

③受講者の状況

受講生は全て女性で、16 名であり内訳は次の通りである。

年齢層は、20 代 5 名 / 30 代 6 名 / 40 代 4 名 / 50 代 1 名

いずれも受講開始時点では定職に就いておらず、無職であった。

④受講者の意識調査等

受講者満足度は下記のとおりである。修了者 9 名について調査した。

IT 活用能力向上カリキュラム

大変満足 2 名 (22%) 満足 3 名 (33%) 普通 4 名 (45%)

就職支援

大変満足 2 名 (22%) 満足 5 名 (56%) 普通 1 名 (11%) 不満 1 名 (11%)

キャリアコンサルティング

大変満足 4 名 (44%) 満足 5 名 (56%)

ジョブカード作成

大変満足 2 名 (22%) 満足 3 名 (33%) 普通 4 名 (45%)

⑤受講後の状況 (修了者数・就職率)

受講者 16 人中、9 人が規定の出席時間数に達したため、修了証を交付した。

修了者の 9 人全てが、就職希望者であり就職活動を行い、2 人が就職し、現在 7 人が就職活動中である。(平成 22 年 3 月 8 日現在)

3. 事業の評価に関する項目

①当初目的の達成状況

受講者満足度は、「大変満足」と「満足」を合わせると 55%~100%であり、講座就職者数も 7 人となり、ともに当初設定値を達成したため、講座の目的を達成した。

②事業の成果及び改善点

主な成果は、下記のとおりである。

1. 再就職を希望する女性に対する IT 活用能力向上カリキュラム及び就業支援カリキュラムの完成
2. 女性に対するジョブカードの活用法の実証
3. 古河市男女共同参画課との連携により、受講生募集・男女共同参画についての講演が実現できた。

なお、IT 活用能力向上カリキュラムについては、計画段階では IT を活用した実務能力の育成を目標としていたが、実施段階では資格取得が目標になってしまった。この点については、計画段階の目標に戻す改善が必要である。

また、今回の受講者の年齢層が比較的高い (31%) こともあり、ジョブカードの活用法に関して懐疑的な方が多かった。年齢層によって「ジョブカード」と「履歴書・職務経歴書」を使い分けるような柔軟な対応が必要かもしれない。

③次年度以降における課題・展開

自校においては、主にビジネス IT 学科・医療ビジネス学科のカリキュラムに反映させ、授業に採り入れる予定である。

地域において他の専門学校等と連携をより密にし、女性の再就職のための講座を策定し、実践する予定である。

④成果の普及

特別講演・成果発表会（平成 22 年 3 月 3 日）を実施し、本事業の成果を関係者（28 人）に発表した。

また、実績報告書を作成し、古河市男女共同参画課・古河市青少年ホーム等を通して関係機関に普及する。